

2023年3月期中間期 決算説明会 主な質疑応答  
(開催日：2022年11月24日 場所：日本アナリスト協会(リアル&WEB 配信))

Q1：2023年3月期の業績見通し、原材料価格高騰による価格転嫁の進捗について教えて欲しい。

A1：顧客との交渉は着実に進んでいるが、顧客数、製品数が多いこともあり、決着に時間を要している。  
早期解決をめざし交渉を進めている。

Q2：業績目標値達成に向けて、高利益率製品の販売促進9億円とあるが、これは光硬化樹脂用材料関連の製品のことを指しているのか。

A2：大半はそうだがそればかりではない。光硬化樹脂用材料は、比較的収益率の高い製品を優先的に販売すること、また顧客のフォーキャストに沿って下期は増益を見込んでいる。

Q3：第3プラントの減損損失が今期計上されている。他のプラントにその懸念はないのか。

A3：追加の予定はない。第3プラントの販売低迷は、原材料調達が問題で拡販できないことも背景の一つだ。代替原料使用の目途もたってきており、今後、情報・電子材料用途へ積極展開を図りたい。

Q4：設備投資の見通しが増加している。通常のメンテナンス等に係る費用を中心としたものか。

A4：将来的に伸長が期待される製品のプラント建設関連費用が含まれる。

Q5：ESGに関する重要性について、会社としての考え方を教えてほしい。

A5：重要な経営課題としてとらえている。特に「E:環境」は、今後さらに脱石化の流れが加速すると考えていて、当社にも商機があると見ている。現在、バイオ原料や天然原料に関する研究開発を進めており、顧客側での評価が完了した案件も出てきている。

以 上